

# 奈良県感染症情報

平成 26 年 第 43 週( 10 月 20 日～10 月 26 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.65	(2.35)	➔	➔	➔	⬆
2	手足口病	0.68	(0.65)	⬆⬆	⬆⬆	⬆	➔
3	RS ウイルス感染症	0.59	(0.79)	⬇	⬇	⬇	➔
4	A群溶連菌咽頭炎	0.53	(0.85)	➔	⬇	⬆⬆	⬇
5	突発性発しん	0.32	(0.65)	⬇	⬇	⬆	⬇

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **⬆⬆**急増、**⬆**増加、**⬆**やや増加、**➔**横ばい、**⬇**やや減少、**⬇**減少

## ◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎が県全域から報告されるようになってきました。先週に続き桜井保健所管内でも幼稚園でノロウイルスによる集団発生がありました。県周辺の大府、京都府では本県と比較し定点当たりの患者数は多く、今後の動向が気になるところです。ノロウイルスは感染力がとて強く、症状が収まってからも1ヶ月程度は便中にウイルスが排泄されます。また、排泄物などの処理には十分な注意をすることが集団感染の防止に大切です。今一度、予防対策についての確認をしましょう。

インフルエンザとRSウイルス感染症は、先週と比べ横ばい状態で推移しています。

流行季からやや外れた手足口病が、桜井保健所管内や郡山保健所管内で増加しています。原因ウイルスは飛沫感染や経口感染が主なものです。予防の基本は、手洗い・うがいです。こまめな手洗いを心がけましょう。

## ノロウイルスによる感染性胃腸炎の予防法と消毒について

### 予防法

- ・ 食事前やトイレの後には、**石鹼**を使ってしっかり手を洗ってください。
- ・ 調理する際には十分に加熱し、使用したまな板や包丁は加熱消毒してください。

### 汚物・吐瀉物の処理 **必ず使い捨ての手袋、マスクを着用してください。**

- ・ 便・嘔吐物の直接の消毒は、市販の塩素系漂白剤を水道水で**50倍**に薄めた消毒液④(塩素濃度200ppm)を噴霧し、広がらないようにペーパーや布で拭き取ります。
- ・ 拭き取った後、消毒液Aをさらに5倍に薄めた消毒液⑥(塩素濃度1000ppm)で浸すように床を拭き取り、その後十分な水拭きをします。

### 消毒について

- ・ トイレの便座、床、ドアノブなどの消毒は、使い捨ての手袋、マスクを着用し、消毒液⑥を噴霧してください。消毒後は、ペーパーや布で十分にふき取って下さい。
- ・ 衣類、タオルなどの消毒は、**熱湯(85度以上)で1分以上**の加熱が有効です。

使用したペーパー、布などは、2重にしたビニール袋に入れ封をし処分します。処理後は手を十分に洗ってください。なお、消毒液の使用中は窓を開けるなど換気に気をつけてください。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 第 43 週 10 月 20 日 ~ 26 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ	1 (0.02)				1 (0.09)			
小児科定点数	35	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	20 (0.59)		9 (0.90)	5 (0.71)	5 (0.71)		1 (0.50)	
咽頭結膜熱	7 (0.21)	2 (0.29)		1 (0.14)	4 (0.57)			
A群溶連菌咽頭炎	18 (0.53)	2 (0.29)	4 (0.40)	4 (0.57)	7 (1.00)		1 (0.50)	
感染性胃腸炎	56 (1.65)	7 (1.00)	20 (2.00)	8 (1.14)	16 (2.29)	3 (3.00)	2 (1.00)	
水痘	10 (0.29)	3 (0.43)	3 (0.30)	4 (0.57)				
手足口病	23 (0.68)		6 (0.60)	16 (2.29)	1 (0.14)			
伝染性紅斑	4 (0.12)	1 (0.14)	3 (0.30)					
突発性発しん	11 (0.32)		5 (0.50)	5 (0.71)	1 (0.14)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	2 (0.06)	1 (0.14)	1 (0.10)					
流行性耳下腺炎	7 (0.21)	5 (0.71)		1 (0.14)	1 (0.14)			
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎							-	
流行性角結膜炎	3 (0.33)		1 (0.33)	1 (0.50)	1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎								-
無菌性髄膜炎								-
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)		1 (0.50)					-
クラミジア肺炎								-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								-

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核10件(奈良市3、郡山3、葛城3、桜井1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	後天性免疫不全症候群1件(桜井1) 梅毒1件(奈良市1)

❖ 第43週のトピックス ❖

デング熱の流行状況について(厚生労働省検疫所FORTH)  
<http://www.forth.go.jp/topics/2014/10281600.html>

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男												1									1	5981	
	女																						1	5988
RSウイルス感染症	男	3	1	4	2		1															11	234	
	女	1	1	4			2					1											9	205
咽頭結膜熱	男		1	1					1													3	467	
	女			2		2																4	385	
A群溶連菌咽頭炎	男					3	2	1	1	3			1	2								10	740	
	女					3	4	4	3	1	1		1	1								8	668	
感染性胃腸炎	男		3	3	2	4	4	3		1	1	2	2		3							28	3184	
	女	1	2	2	6	2	5		2				3	1	4							28	2920	
水痘	男			1			3															5	562	
	女			2				1	2													5	490	
手足口病	男			3	2	3	1		1													11	124	
	女			3	3	4		1					1		1							12	95	
伝染性紅斑	男						1	1		1												3	57	
	女							1														1	49	
突発性発しん	男		1	3																		4	276	
	女		3	4																		7	234	
百日咳	男																						1	1
	女																						1	1
ヘルパンギーナ	男												1									2	667	
	女														1							2	599	
流行性耳下腺炎	男			1	2	1	1				1											5	94	
	女																					1	88	
急性出血性結膜炎	男																					2	79	
	女																					1	106	
細菌性髄膜炎	男																						6	1
	女																						1	1
無菌性髄膜炎	男																						5	2
	女																						2	4
マイコプラズマ肺炎	男				1																	1	5	
	女																							4
クラミジア肺炎	男																							18
	女																							18

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24 〰 過去10年平均

